

大垣市

安八町

参加費無料

事前申し込み
必要

揖斐川
↓

『揖斐川の治水を考えよう！』

来月7日、大垣でフォーラム開催

輪之内町

参加者募集！ 奮ってご参加ください

- ・ 揖斐川の横山ダム完工50周年を契機として、「揖斐川治水フォーラム」（岐阜新聞・ぎふチャン主催、国土交通省木曾川上流河川事務所、大垣市が後援）が10月7日（火）午後1時30分から、大垣市馬場町の市総合福祉会館で開催されます。

揖斐川流域は、地形的特徴から「洪水常襲地帯」と言われ、古来より洪水に見舞われ、水に苦しめられてきた地域です。度々、洪水に襲われた先祖の人々は、今から400年前、洪水から生命と財産を守るため、周りの人々と共同になって、自分たちの家の周りに「輪中」と呼ばれる堤防を築き、その歴史や文化を育んできました。近年、揖斐川上流に建設された横山ダム、徳山ダムの整備が進む一方で、流域住民の治水に対する意識が低下している、という指摘もあります。

- ・ フォーラムでは、大垣市文化財審議会委員の清水進さんが、「大垣輪中と金森吉次郎」と題して、明治期の流域の治水功績者である金森吉次郎の功績の足跡をたどり、輪中の歴史変遷など基調講演を行います。この後、国土交通省木曾川上流河川事務所の大澤健治所長、金原明善記念館の岡本啓司館長らが加わり、パネルディスカッションを行います。金森吉次郎や金原明善らの足跡をたどりながら、市民生活と今後の揖斐川の治水治水について考えます。皆様、奮ってご参加ください。

【事前申込み方法】 聴講希望者は、はがきに住所、名前を明記し、以下まで郵送願います。

〒503-0915 大垣市北切石町1-11 岐阜新聞・岐阜放送 西濃支社宛



金森 吉次郎

(写真：「輪中と治水」より)

全財産をなげうち、 治山治水に尽くした金森吉次郎

かなもり きちじろう

毎年のように迫り来る洪水禍、内水被害など。
そんな災害を根絶するために、生涯を賭して奔走した人がいました。
幕末に、大垣輪中の魚屋町（現大垣市魚屋町）に生まれ、明治、大正という激動の時代、
治山治水に尽力した金森吉次郎がその人です。
抜本的な解決を目指した明治改修の請願活動はもちろん、
宝暦治水の顕彰活動まで、その功労は今もなお、高く評価されています。

2014年

10月7日 火

会場 大垣市総合福祉会館
5階ホール

時間 13:30 ▶ 16:00

主催 : 岐阜新聞・ぎふチャン
後援 : 国土交通省木曽川上流河川事務所
大垣市

第1部 基調講演

『大垣輪中と金森吉次郎』

【講師】清水進（大垣市文化財審議会委員）

第2部 パネルディスカッション

『水を治める 堤の上の群像』

【パネリスト】 清水 進（大垣市文化財審議会委員）
岡本啓司（金原明善記念館長）
大澤健治（木曽川上流河川事務所長）
【コーディネーター】野村克之（岐阜新聞西濃支社長）

しみず すずむ
清水 進

大垣市文化財審議会委員

■プロフィール
昭和12年大垣市生まれ
大垣市立興文中学校長定年退職後、
大垣市教育委員会、学校教育長、
岐阜県史編集室主査など歴任。
西濃地方の近世の歴史が専門。
著書に「美濃の近世社会」「大垣藩の
名主の暮らし」など。

おかもと けいし
岡本 啓司

金原明善記念館長

■プロフィール
昭和26年和歌山県生まれ
和歌山県立向陽高等学校卒
大阪経済大学 卒
太陽工業株式会社入社
太陽工業株式会社定年退社
2年間嘱託延長勤務
平成25年8月から現職

おおさわ けんじ
大澤 健治

国土交通省
木曽川上流河川事務所長

■プロフィール
昭和34年岩手県生まれ
東北大学大学院卒
昭和61年国土交通省（建設省）採用。
設楽ダム調査事務所長、北上川下流
河川事務所長、青森県県土整備部長、
水資源機構中部支社副支社長を経て、
平成26年4月から現職。



アクセス

住所：大垣市馬場町124番地
TEL：0584-78-8181

【奥の細道むすびの地記念館の北隣り】

駐車場（50台程度）

※駐車場には限りがあります。
公共交通機関をご利用ください。